

2022年(令和4年)
7月1日 金曜日
第1886号

京都自動車新聞



2
5
6
7
2
京都府が軽油高騰で支援公表
京整振9月にB大会 3年ぶり
スズキ自販京都が表彰式開く
JU近畿が総会やジャンボAA
◀京ト協 第97回通常総会

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町51-5 (京都自動車会館内) 電話(075)672-0552 ファクス(075)682-0205 メール access@kyotojidisha-np.jp https://kyotojidisha-np.jp

ワンチームを成長エンジンに

帝産観光バス社長 市川慎一さん

トップインタビュー
この人に聞く



「復活ののろし」全社一丸で攻勢

「コロナ禍の2年間で、通常の振り返って。設立以来76年の歴史を重なる中、さまざまな危機を乗り越えてきたが、コロナ禍は最大のピンチだった。2021年の売

新型コロナウイルスの下、遠のいていた修学旅行が本格的に復活し、京都の観光名所にぎわいが戻ってきた。6月10日からインバウンド(訪日外国人)の受け入れも再開するなど、コロナ禍で失われた2年半を取り戻そうと観光関連業界の動きが活発化し始めている。その中、帝産観光バス(東京都品川区)の市川慎一社長は「復活ののろしを上げる。強みである『ワンチーム』を成長エンジンに更なる発展を目指したい」と全社一丸で攻勢に転じる意向を示す。

向など社員全員で会社を守るための施策に取り組んだ。一方、厳しいからといって、人員や車両台数を減らしたり、拠点を閉鎖したりはせず、需要が戻ってきた時に動ける体制は維持してきた。運転士やガイドは乗車予定が無くても定期的にハンドルのマイクを握り、スキルが落ちないように努め、モチベーション維持を図っていた。

事業領域を拡大 高速乗合スタート

助成金の活用はもとより、ワクチン接種の電話受付や陽性者のアフターフォロー、飲食店における感染防止対策の確立業務、グループのタクシー会社への出

Profile (プロフィール)

市川 慎一 (いちかわ しんいち)
1956年1月21日生まれ。78年に京都産業大学卒業し同社入社。2006年に取締役総務部長に就任、常務取締役、専務取締役を経て、15年から現職。趣味は健康の意味も含めてランニング等を動かすこと。京都マラソンは4回完走。「実ほじ頭がたれる稲穂かな」を座右の銘にしており、「肩書が上がるほど謙虚に真摯でありたい」と思っている。各地へ転動したが、京都での営業職が最も長く、「生まれも育ちも京都なので最も愛着がある」。

業界の変遷に対応 機器を展示し情報を提供

オートビジネスフェアKYOTO 3回目の開催を機に、3つの目的を掲げた。会場には、コーティングや車内リペアを中心としたカーディテイングコーナー、また、フロンガス回収機やDPF洗浄機など

3回目の開催を機に、3つの目的を掲げた。会場には、コーティングや車内リペアを中心としたカーディテイングコーナー、また、フロンガス回収機やDPF洗浄機など

どの提案整備機器コーナー、エーミング機器やスキャンツールの特設ブースを中心に各ブースで様々な機器の展示と美

どの提案整備機器コーナー、エーミング機器やスキャンツールの特設ブースを中心に各ブースで様々な機器の展示と美



㊤フェア全景 ㊦セミナー

師が活躍する繁盛店のつくり方をテーマに、女性や高齢のスタッフが活躍できる洗車ビジネスについて、ノウハウを紹介していた。

師が活躍する繁盛店のつくり方をテーマに、女性や高齢のスタッフが活躍できる洗車ビジネスについて、ノウハウを紹介していた。

レンタカー・代車のことなら なんでもご相談ください
トヨタレンタリース京都
予約センター
☎(075) 315-7320 年中無休

「成長エンジンにワンチームを挙げる。運転士、ガイド、整備士、事務職とそれぞれ違う方を向きがちだが、節目節目でミーティング、会議を通じ課題を共有、お互い交流を図ることでコミュニケーションを高めている。部署間だけでなく支店間も同じだ。(3面に続く)

ブロードリーフの新しいクラウドはじまる

らくらく導入、かんたん操作。
『日常業務の効率化』をサポート!

- PC、タブレット、スマホ対応
- 必要な機能を自由に組み合わせ
- 月額契約のサブスク対応

顧客・車両・履歴管理 | 伝票作成業務 | 顧客アプローチ業務

株式会社ブロードリーフ www.broadleaf.co.jp
〒612-8418 京都府京都市伏見区竹田向代町51-5 京都自動車会館5F
TEL 075-661-1050 FAX 075-661-1051